

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

バイオマテリアルによって医療の進展に貢献する

事業収益

9,283百万円

研究開発費

951百万円

② 中長期の経営戦略

1. 製造販売承認取得と安定供給体制構築

製造販売承認を取得予定の製品の安定供給体制・販売体制を構築し、グローバル展開を目指す

2. 適応拡大と次パイプライン事業化

国内外の適応拡大に経営資源を配置し、パイプラインや研究機関での応用研究を事業化に注力

3. 事業領域の絞り込みと効率化

消化器内視鏡領域に事業を絞り込み、営業経費削減と収益確保を優先。研究開発も注力分野に集中

③ 対処すべき課題

① 事業収益拡大とコスト削減

- ・ 欧州・豪州・日本・米国で止血材の営業展開中だが営業損失継続。消化器内視鏡領域への特化による経費削減が課題
- ・ 次世代止血材や粘膜炎創傷治癒に注力し、臨床試験を最小化してグローバル最適市場での開発効率化

② 資金調達と財務基盤強化

- ・ ハイツ・キャピタル・マネジメント・インクから新株予約権発行により2,628,560千円調達
- ・ 既発行社債の早期償還により負債削減。りそな銀行とのコミットメントライン契約で安定資金確保

③ 研究開発体制と経営管理の強化

- ・ 小規模体制で複数製品開発中だが、グローバル化対応の法令遵守体制構築が必要
- ・ グローバル拠点展開に対応した内部統制体制、コンプライアンス強化と組織間牽制機能の確立が課題
- ・ 上市製品増加と事業拡大に対応した人員計画による高度専門人材の確保と育成

面接で使えるポイント

- ・ バイオマテリアルで医療貢献という企業理念の下、吸収性止血材など外科領域で欧州・豪州・日本・米国での販売展開中
- ・ 2026年4月期に事業収益9,283百万円・研究開発費951百万円を目標とする先行投資型企业
- ・ 次世代止血材開発や内部統制体制強化、国内外人材確保を通じて医療機器企業としての競争力確立を目指す

証券コード 7777

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
精密機器業界に属する医療製品開発企業

主力事業・セグメント

・精密機器（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率12.3%の安定した収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
109億円営業利益率
12.3%財務健康度
47点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 61.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
942万円

精密機器内 8位/50社

平均年齢
47.37歳

精密機器内 9位/51社

平均勤続
3.53年

精密機器内 48位/51社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 株式会社SBI証券が株式会社スリー・ディー・マトリックス<7

